

- ☆ 昨年度刊行の第76号に引き続き、本年度も第77号を冊子体で刊行の運びとなりました。国立国会図書館は、戦前の帝国図書館期から戦後を通じて、様々な特色ある資料群を収集蓄積してきました。今回の掲載記事は、その中から「日本占領関係資料」と「発禁図書」について、収集経緯や来歴などをあとづけながら、資料をめぐる歴史的特性を明らかにしようとする試みです。
- ☆ 「(特集)日本占領関係資料収集の歩み」では、収集事業の嚆矢となったGHQ/SCAP文書収集事業が軌道にのるまでの道のりを、当時の当館関係者と研究者双方の回顧談により振り返ってみました。当事業開始前後の状況については、これまで断片的には伝えられてきましたが、関係者の証言を突き合わせることで、事業が進展した背景が、より具体的に浮かび上がってきました。また、現在も収集を継続しているプランゲ文庫資料は、戦前の「発禁図書」と同様、占領期における「検閲」を解明するための重要な研究対象として位置づけられます。
- ☆ 「国立国会図書館所蔵『発禁図書番号目録』安寧ノ部・風俗ノ部」は、本誌第73号に掲載された同著者による「受入後に発禁となり閲覧制限された図書に関する調査—戦前の出版法制下の旧帝國図書館における例—」の続編です。前稿と合わせることで、帝国図書館から国立国会図書館へと引き継がれた「発禁図書」について、これまでの既刊目録や検索手段で把握できなかった、その全貌を解明しようとした力作です。戦前期の出版政策・文化を垣間見るうえでも非常に興味深い書誌になるものと思われまます。
- ☆ 本誌についてのご意見、ご感想をお寄せ下さい。(堀内)

● 編 集 方 針 ●

『参考書誌研究』は、国立国会図書館が取り組んでいる主題情報の発信について紹介する専門的な研究広報誌です。

- ・「リサーチ・ナビ」との連携を重視し、国立国会図書館のレファレンス・サービスの発展に積極的な役割を果たします。
- ・専門書誌、資料紹介、資料研究のほか、レファレンス業務に関する論考など、国立国会図書館が取り組んでいる主題情報の発信に関わる記事を幅広く掲載します。
- ・レファレンス・サービスに従事する図書館員や各分野の調査研究に役立つ質の高い情報を提供します。

※『参考書誌研究』購入のための問い合わせ先は、以下の通りです。

- 75号(2011年9月発行)まで  
公益社団法人日本図書館協会  
連絡先：〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14 電話：03(3523)0812
- 76号(2015年3月発行)以降  
勉誠出版株式会社  
連絡先：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10-2 共立ビル7F 電話：03(5215)9021

参考書誌研究 第77号 平成28年3月25日発行

編 集／国立国会図書館利用者サービス部  
編集責任者／石渡 裕子  
発 行／国立国会図書館  
〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1 電話 03(3581)2331(代)  
印 刷／株式会社文栄社 電話 03(3662)1951(代)

ISBN 978-4-87582-782-5

※本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜粋し転載される場合には、事前に国立国会図書館利用者サービス部サービス企画課(メールアドレス:sankosyosi@ndl.go.jp)へご連絡下さい。